

## 実社会対応プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「制度、文化、公共心と経済社会の相互連関」

◆研究テーマ:「共感形成の社会基盤とソーシャル・ビジネスを活用した新産業創造の研究」

研究期間:H27.10~H30.9

委託費総額:1260千円

### <研究代表者>

**八木匡**:同志社大学経済学研究科/教授



<専門分野>

公共経済学、文化経済学

<Webページ>

<http://tyagi.doshisha.ac.jp/>

### <研究目的・概要>

・新しい概念に基づく成熟化社会の構築



**共感と信頼が醸成された社会基盤の下で、  
新たなる公共を育成し、社会の活力を向上  
させるための政策を研究する。**

・共感から出発して、信頼形成を基盤とした経済社会を実社会において構築するための実装スキームを提示する。

・震災復興をソーシャル・ビジネスによって進めている気仙沼商工会議所と連携して、ソーシャル・ビジネスの立ち上げ、実践的活動を行う。



**被災地における都市機能の向上と新産業  
育成を促進し、復興のモデルを提示する。**

### <研究計画の特徴>

・「実務者」と「研究者」の共同研究

共感に基づいた信頼の醸成メカニズムを理論的・実証的に明確化し、強い信頼関係に基づいた社会を構築するための条件を模索する。

気仙沼商工会議所と連携して、被災地域の現地調査を実施し、復興段階の住民の信頼の構造形成を解析することで、ソーシャルビジネス設計の要件化を図る。

### <目標とする研究成果>

(1) 震災被災地の復興モデルの提示

ソーシャル・ビジネス実践家との協働による、  
ソーシャル・ビジネスを核とした経済復興プログラムの企画と推進を行い、復興モデルを示す。

(2) 信頼と互酬性に関する知見を示す

信頼形成を促進する社会基盤に関する要素を明確化し、ソーシャル・ビジネスを用いた新産業創造の可能性を明らかにする。